

岸地区を歩く《天社神社》



天社神社



昭和8年の天社神社

今回は岸地区ではありませんが、隣接する丸山東麓にあり、馴染みがあるもののどういう神様なのかよく判らない「天社神社」を紹介します。

昔は第六天社と言い、元々は向原の高松地区から松田町の寄(やどりき)へ行く峠(第六天峠、尺里峠とも言う)にあったものです。人々の往来が減少したため村人が相談し、江戸時代の中頃に山の麓(国道246号線・向原西交差点付近)に遷座し、向原地区の氏神様となったようです。

その後、昭和40年頃に東名高速道路の高架道が神社の境内を通る計画が持ち上がったため、昭和43年に現在の丸山の麓に再び遷座をしました。

少し難しい話になりますが、この「第六天」とは仏教で言う三界(欲界・色界・無色界)の中の欲界天の最高位(第六層)に位置する他化自在天(たけじざいてん)という天魔で、仏法を破滅させる悪魔とされています。

第六天の魔王と称される仏ですが、法力が強いことから山岳修行をする修験者からは、身を守る仏と

して敬われてきました。紀伊半島から中部山岳、そして箱根や丹沢の山々は修験道のメッカとされ、山北町内には第六天が15ヶ所もあります。

奈良時代から江戸時代にかけては、神も仏も一緒という神仏習合の時代で、例えば八幡神は阿弥陀如来の化身(けしん)とされてきました。

では第六天の魔王をどの神様と習合させたかということですが、当時から知恵者がいたようで神代七代の第六代にあたる面足尊(おもだるのみこと)と、惶根尊(かしこねのみこと)の夫婦神を充てはめたのです。第七代はイザナギ・イザナミ尊ですから、その一代前の神様です。

こういった経緯により「天社神社」の主祭神は【面足尊】とされ、長寿や結婚の守護神として崇敬されています。

《参考文献 山北町史通史編、日本の神様読み解き辞典 他》

カメラ
散策



①



②



③

12月の夜の岸の風景です。①三菱ガス化学の工場。②暗い住宅街に圧倒的な明るさのIさん宅。毎年クリスマスイルミネーションで楽しませてくれます。③「本当は昼間の方が楽しい飾りつけ」と言っていたMさん、快く夜の撮影もひきうけてくれました。暗いことの多い昨年でしたが、今年こそは明るい年にしたいものです。

山北町統一美化 クリーンキャンペーン実施

昨年10月16日(日)、「かながわクリーン運動」にも登録されている、山北町統一美化クリーンキャンペーンが繰り広げられました。

岸地区では各自治会の皆さんにより、道路脇や公園内の散乱ゴミなどが拾い集められ、トラック2台分にもなりました。日々目にする場所が綺麗になり気持ちがいいですね。参加された皆さんありがとうございました。



どんど焼きでコロナを追い払おう！

1月8日(日)快晴のもと、各自治会ごとに「どんど焼き」が行われ、今年一年の無病息災を願い、手造りの団子を焼いていました。

この行事は、外来の疫病や悪霊を防ぐ神でもある道祖神のお祭りなので、これを節目にコロナウイルスが一日も早く退散することを祈りたいと願っています。



新たな民生委員児童委員さん紹介

昨年の12月に民生委員児童委員の一斉改選があり、岸地区の民生委員児童委員が決まりました。民生委員児童委員は、厚生労働大臣の委嘱を受け、地域の方の心配ごとの相談など身近な相談相手・支援者として活動しながら、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」としての役割を担っています。特に、ひとり暮らしのお年寄りや高齢者、障がいがある方のいる世帯への見守り・安否確認などにも重要な役割を果たしています。また、民生委員は児童福祉法によって児童委員も兼ねており、子育てに関する様々な相談や支援も行っています。

心配ごとなどがありましたら担当地区の民生委員児童委員に相談して下さい。

- | | | | |
|----|------------|-----|------------|
| 越地 | 高橋 圭子 (新任) | 湯坂 | 深野 雅子 (再任) |
| 斑目 | 秦野 俊生 (再任) | 南原 | 杉本あつ子 (新任) |
| 宿 | 小菅象一郎 (新任) | 原耕地 | 石田 常子 (新任) |

岸地区の文化財紹介② . . .

南原の古墳群

酒匂川を見下ろす大地の南側には、南原古墳群(1号墳~4号墳)があり、また丸山東麓の現在の天社神社周辺にも水上古墳群がありました。山北町では唯一の古墳です。しかし現在では南原1号墳と3号墳が残っているのみです。

平成10年に調査をした南原1号墳の石室からは、人骨や鉄剣、勾玉(まがたま)や琥珀玉(こはくたま)等の装飾品も出土しています。今からやく1500年程前の6世紀後半から7世紀初頭にかけて築造されたようです。小規模の円墳とはいえ、この地域を支配していた有力者がいた証とも言えます。どのような人物だったのか想像するのも、歴史の楽しみの一つです。



南原1号古墳の石室のようす

岸地区の文化財紹介③ . . .

金箔押烏帽子形兜

(きんぱくおしえぼしなりかぶと)

この兜は外見が烏帽子(男子のかぶり物)の形をしているため、烏帽子形兜と呼ばれています。

これは平安時代末期に現在の山北町一帯を支配した河村氏の子孫となる河村権七一吉(ごんしちかずよし)が、天和元年(1681)に父親の勝興(かつおき)の五十回忌の追善供養のため、菩提寺である越地の般若院に奉納したものです。

河村秀高が築いた山城である河村城は、南北朝時代の正平8年(1353)に足利軍に攻められて落城しました。しかし、一族はそれ以前の鎌倉時代に活躍して御家人となっていた為、現在の岩手県や新潟県、三重県等に所領を得ています。

河村勝興は豊臣秀吉や徳川家康に仕えた大名である加藤嘉明(よしあき){賤ヶ岳7本槍(しずがたけのしちほんやり)の一人、嘉明の母は河村氏出身}の家臣で、家老職まで努めています。

勝興の跡継ぎである権七一吉も加藤家に仕えますが、主家が没落したため20年間浪人となります。その後の経緯は不詳ですが甲府藩主の徳川綱豊(つなとよ)に仕え、綱豊が6代将軍徳川家宣(いえのぶ)になったことにより幕臣となり、旗本として将軍家に仕えました。河村氏の一族としては一番出世とも言えます。

こういったことから権七一吉は兜を般若院に納めると共に、本堂の裏手に河村氏一族の系譜や事績を記した墓碑(供養碑)を建立しています。現在も見ることができます。

*この兜は川村小学校の校章のモチーフともなっています。

*この兜は神奈川県立歴史博物館で保管されています。



金箔押烏帽子形兜



川村小学校の校章

情報コーナー

いきいきとした1日は朝食から！！

朝は頭がぼんやりとする、いまいち頭が働かないと感じたことがある方も多いのではないのでしょうか？

私たちの脳はブドウ糖をエネルギー源としています。夜寝ている間にブドウ糖は消費され、起きた時には脳はエネルギー不足の状態になっています。つまり、ブドウ糖を補給すること＝朝食を食べることが必要です。

○ブドウ糖は何に含まれているの??

→ごはん、パンといった主食に多く含まれています。

朝食を食べる習慣のない方

…まずはごはん1口や食パン半分から少しずつ食べてみましょう。

朝食を食べる習慣のある方

…ごはんやパンを中心に肉・魚・卵などの主菜、野菜などの副菜が揃った食事を目指しましょう。



時間のない朝でも、朝食の下ごしらえを夕食の準備と一緒にしておく、夕食を多めに作って朝に食べる、果物やチーズなど手を加えなくても食べられるものを用意しておくなどの工夫をしながら1日の始まりに美味しく朝ごはんを食べましょう！！

問合せ：保険健康課健康づくり班（健康福祉センター）75-0822

敬老茶話会代替事業が実施される

岸地区福祉協議会では、高齢者の親睦と福祉を目的として、例年「敬老茶話会」を開催し楽しいひと時を過ごしていただいていた。しかし、近年は新型コロナウイルス感染防止から本年を含め3年間中止させていただいています。

このような状況の中、本年は代替事業として岸地区の80歳以上(258名)の方々へ、ご健康とご長寿を祈念し、心ばかりの「お品」を10月8日お届けいたしました。

訪問した皆様から「ありがとう」「うれしい」と笑顔で温かいお言葉をいただきました。



いきいきセンター管理棟を解体

長年に渡って管理人が不在となり、使用されていなかった高齢者いきいきセンター管理棟は、老朽化により昨年11月に取り壊されました。

跡地には大型の倉庫が設置され、今まで倉庫に入らなかった大きなテントや資機材などが収納されました。



お知らせ・今後の日程

- 3月 5日(日) 岸連合自治会定例総会
- 18日(土) 岸地区福祉協議会・青少年健全育成会合同総会
- 4月 2日(日) 八幡神社例大祭
- 5月 5日(金) 文命祭

②コロナ禍により行事に変更の場合があります。

編集後記

輝かしい新年を迎えられたことと思います。今号は、向原にある天社神社そして、一年間の無病息災、家内安全、五穀豊穡を祈る地域に残る伝統行事であるどんど焼き等の様子を掲載しました。

広報も現委員での編集は最後となります。1年間有難うございました。次号からは新メンバーにより、岸地区のタイムリーな話題をお届けできるよう紙面づくりに取り組んでいきます。

初めまして 赤ちゃん



石田 聖桜(せら)ちゃん

保護者 雅樹・友子さん(原耕地)

我が家のアイドルせらちゃん!!

たくさん笑って素適な女の子になってください(笑)❤️

町の一般表彰受賞

おめでとうございます



佐藤さん



川口さん

令和5年1月5日(木)山北町立生涯学習センターで行われた、山北町賀詞交歓会並びに表彰式で、南原地区の佐藤昭七さんと原耕地地区の川口義久さんが、自治振興により一般表彰を受けられました。

多年のご尽力に感謝いたします。